



第58期(2010年3月期) 第2四半期決算説明会



東京物流センター

2009年11月13日



1. 企業概要



■ 社 是

「誠 実」

■ コアコンピタンス

「もの造りサポーターティングカンパニー」

経営の基本方針(1)

【社会的責任】

国・地方自治体への納税を基本とし、かつ世界の将来を担う世代や教育機関を対象とした継続的な寄付と、地域社会や災害復興を目的とした寄付を行ってまいります。

【投資家の皆様】

配当性向33%を基本に考えてまいります。

【お客様】

お客様が望む商品・ソリューションを的確に提案し、商品品質・サービス品質を向上させるとともに、お客様の多様なニーズに適切かつ迅速にお応えし、お客様の満足度を高めてまいります。

「顧客第一」 一買っていただく喜び一

経営の基本方針(2)

【社 員】

「社員一人ひとりの自立が企業の成長につながる」を基本とし、社員は自己の能力を最大限に発揮し、会社は個人を尊重して働きがいのある場を提供し、会社も個人も共に成長できる経営を行ってまいります。

【共 育】

お客様の満足度を高めるため、社員一人ひとりに適切な教育・訓練及び経験の機会を提供し「共に育つ」を教育理念としてまいります。

【地域社会】

循環型社会構築に向け地域社会との融和を図り、企業市民として順法・地球環境の向上・安全を基本として活動してまいります。活動を具体化するため、環境方針を定め行動します。

ビジネスモデル

「もの造りサポーティングカンパニー」

ISO9001 ・ ISO14001



当社システムエンジニアによる技術支援を柱に、高機能商品・システムのご提案やアプリケーションソフトのご提供をメーカーに代わって行う「メーカー代行機能」、独自の情報・物流システムで構成される「ロジスティック機能」、お客様の一括購買を代行する「購買代行機能」、お求めやすい価格・小ロットによるオリジナルブランド「UBON」などの機能を最大限に発揮し、広くもの造りの現場に貢献しています。

取扱い商品



- スイッチ ●リレー ●タイマー ●センサー
- PLC ●温度調節器 ●視覚認識装置
- 制御盤 ●表示機器 等

FA機器分野



- 組込み用ボードコンピュータ
- パソコン ●周辺機器 ●パソコンパーツ
- ネットワーク機器 等

情報・通信機器分野

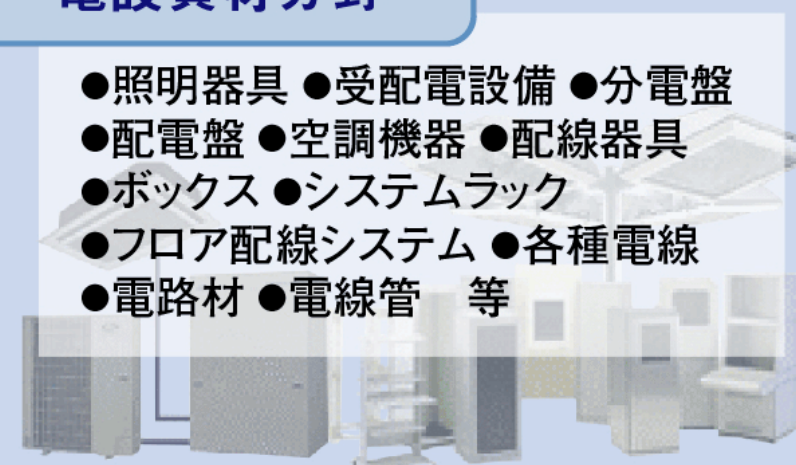
電子・デバイス機器分野

- 基板用部品 ●コネクタ ●半導体
- 安定化電源 等



電設資材分野

- 照明器具 ●受配電設備 ●分電盤
- 配電盤 ●空調機器 ●配線器具
- ボックス ●システムラック
- フロア配線システム ●各種電線
- 電路材 ●電線管 等





2. 第58期(2010年3月期) 第2四半期決算概要



第2四半期連結業績概要

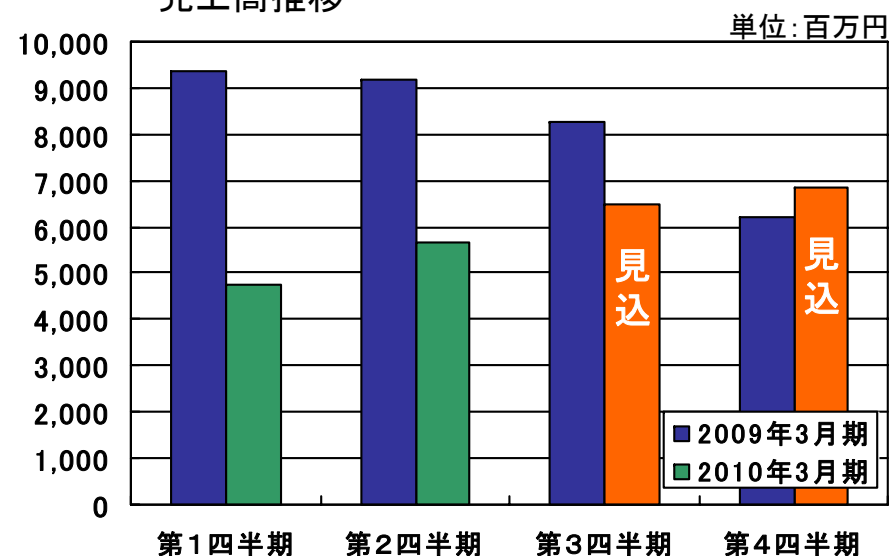
2010年3月期上期

リーマンショックに端を発した昨年からの景気後退が今期に入り一層鮮明となり、設備投資の抑制や減産が全業種に波及。売上、利益ともに大幅に減少。

	当中間期	08/9月期比
1株あたり 中間純利益	▲7円82銭	▲32円31銭

	当中間期	09/3月期比
自己資本比率	64.0 %	0.4 % 増
1株あたり 純資産	1002円73銭	▲9円87銭

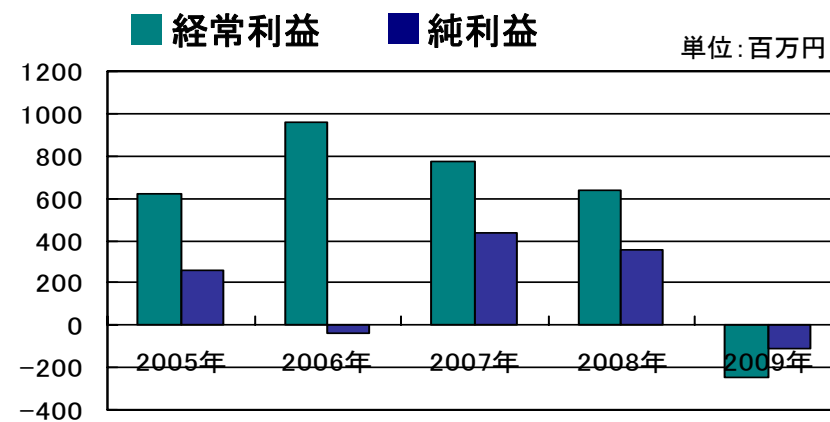
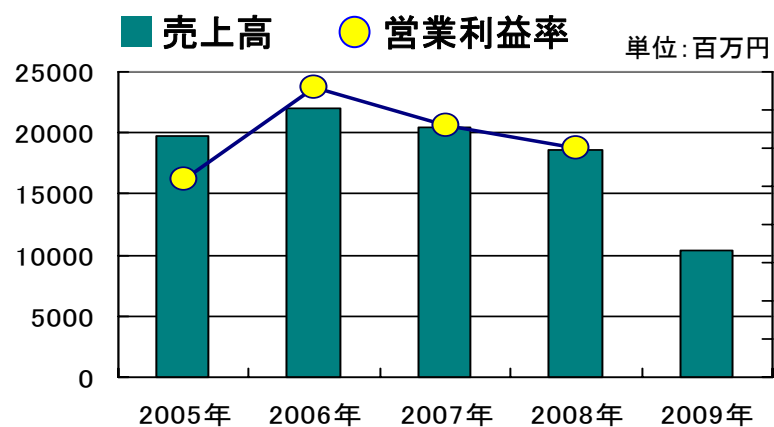
売上高推移



第2四半期連結業績

単位: 百万円

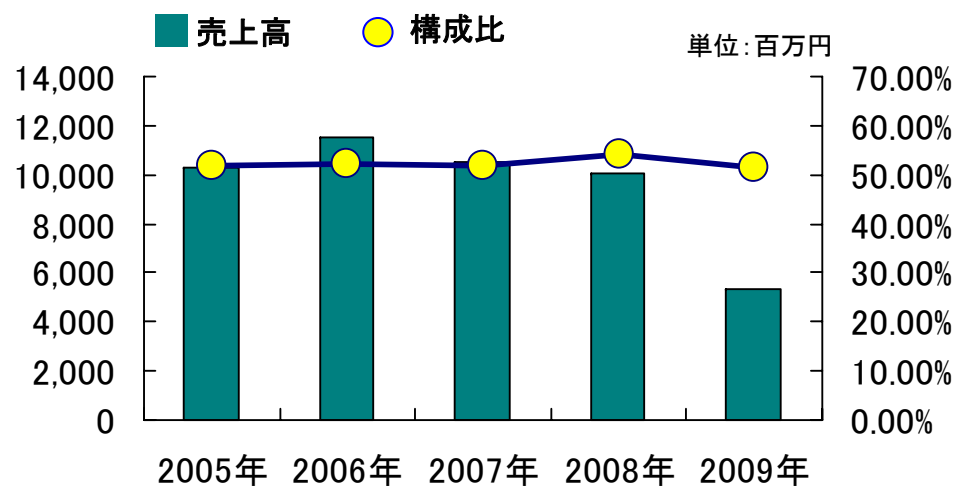
	05年9月	06年9月	07年9月	08年9月	09年9月	10年3月期 第1四半期 公表時予想	差異
売上高	19,710	22,083	20,391	18,561	10,382 (▲44.1%)	12,630	▲2,247 (▲17.8%)
営業利益	509	850	680	558	▲303 (—%)	▲152	▲151 (—%)
(営業利益率)	2.6%	3.8%	3.3%	3.0%	—%	—%	—%
経常利益	623	960	777	636	▲250 (—%)	▲128	▲122 (—%)
(経常利益率)	3.2%	4.4%	3.8%	3.4%	—%	—%	—%
純利益	259	▲39	439 (—)	357 (—)	▲114 (—%)	▲143	29 (—%)
1株当り 中間配当金	5.0 円	8.0 円	10.0 円	8.0 円	0 円	0 円	— 円



FA機器分野(連結)

単位: 百万円

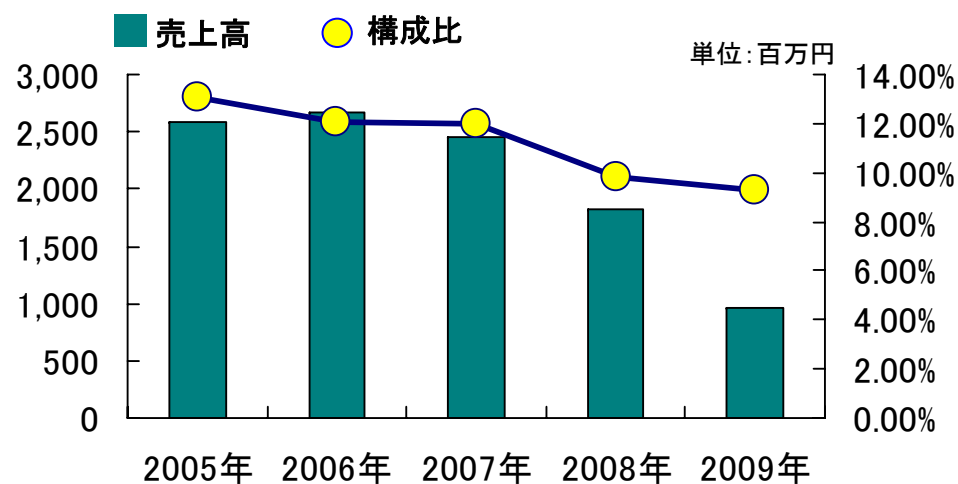
	2005年 9月	2006年 9月	2007年 9月	2008年 9月	2009年 9月
売上高	10,255	11,541	10,544	10,046	5,345
伸長率	▲ 8.0%	12.5%	▲ 8.6%	▲ 4.7%	▲ 46.8%
売上高 構成比	52.0%	52.3%	51.7%	54.1%	51.5%



情報・通信機器分野(連結)

単位:百万円

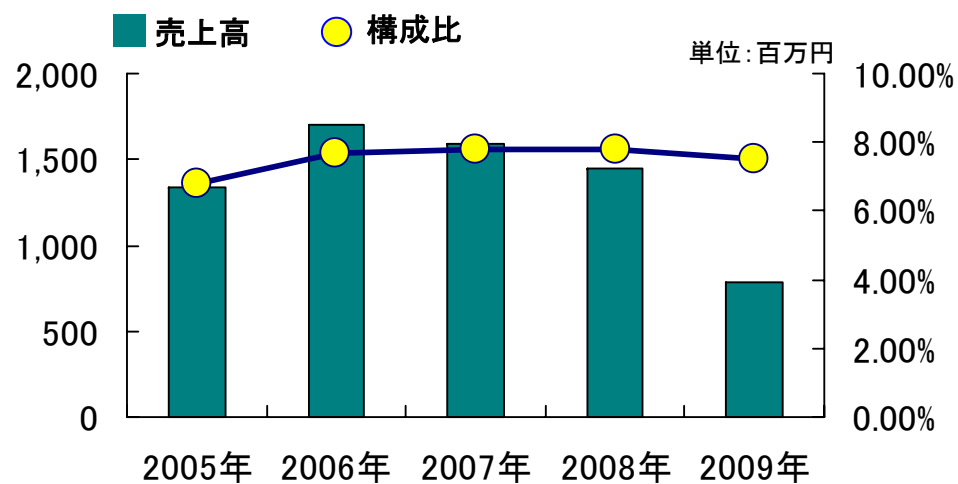
	2005年 9月	2006年 9月	2007年 9月	2008年 9月	2009年 9月
売上高	2,592	2,675	2,450	1,820	961
伸長率	▲ 8.6%	3.2%	▲ 8.4%	▲ 25.7%	▲ 47.2%
売上高 構成比	13.1%	12.1%	12.0%	9.8%	9.3%



電子・デバイス機器分野(連結)

単位: 百万円

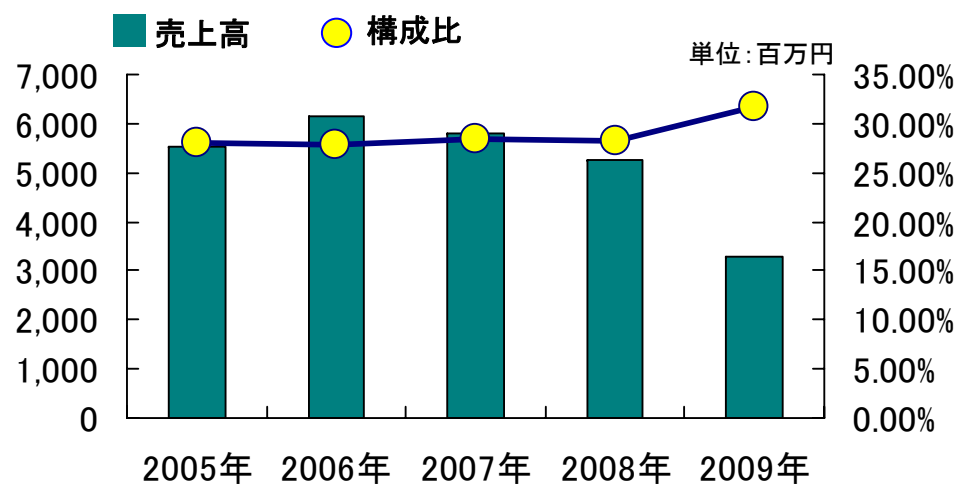
	2005年 9月	2006年 9月	2007年 9月	2008年 9月	2009年 9月
売上高	1,332	1,703	1,594	1,450	783
伸長率	▲ 15.4%	27.8%	▲ 6.4%	▲ 9.0%	▲ 45.9%
売上高 構成比	6.8%	7.7%	7.8%	7.8%	7.5%



電設資材分野(連結)

単位: 百万円

	2005年 9月	2006年 9月	2007年 9月	2008年 9月	2009年 9月
売上高	5,529	6,163	5,802	5,245	3,291
伸長率	1.7%	11.5%	▲ 5.9%	▲ 9.6%	▲ 37.3%
売上高 構成比	28.1%	27.9%	28.5%	28.3%	31.7%



要約第2四半期連結貸借対照表(資産の部)

単位: 百万円

	2008年9月	2009年3月期	2009年9月	増減額(09年3月対比)
流動資産	16,171	14,199	13,869	▲330 (▲2.3%)
（現金及び預金）	4,467	5,490	6,779	1,288 (23.5%)
（受取手形及び売掛金）	9,900	7,203	5,688	▲1,514 (▲21.0%)
（たな卸資産）	1,442	1,135	1,088	▲47 (▲4.2%)
固定資産	8,448	9,055	9,026	▲29 (▲0.3%)
（有形固定資産）	7,028	7,728	7,680	▲48 (▲0.6%)
（無形固定資産）	176	170	164	▲5 (▲3.5%)
（投資その他の資産）	1,243	1,156	1,181	24 (2.1%)
資産合計	24,620	23,255	22,895	▲359 (▲1.5%)

総資産は3億59百万円減少し、228億95百万円となりました。
 主な要因は、現金及び預金が12億88百万円増加する一方で、
 受取手形及び売掛金の減少15億14百万円、在庫の減少47百万円によるものであります。
 また、有形固定資産は取得及び売却等があり、減価償却費と合わせて48百万円の減少となりました。

要約第2四半期連結貸借対照表(資本・負債の部)

単位:百万円

	2008年9月	2009年3月期	2009年9月	増減額(08年3月対比)
流動負債	7,197	4,606	4,165	▲441 (▲9.6%)
（支払手形及び買掛金）	5,314	3,462	3,214	▲247 (▲7.2%)
（短期借入金）	1,148	502	542	40 (8.0%)
固定負債	2,501	3,847	4,072	225 (5.9%)
（長期借入金）	1,346	2,655	2,862	206 (7.8%)
（退職給付引当金）	999	1,002	1,024	22 (2.2%)
負債合計	9,699	8,453	8,238	▲215 (▲2.5%)
（資本金）	1,819	1,819	1,819	—
（資本剰余金）	1,532	1,532	1,532	—
（利益剰余金）	11,785	11,709	11,507	▲201 (▲1.7%)
純資産合計	14,921	14,801	14,656	▲144 (▲1.0%)
負債純資産合計	24,620	23,255	22,895	▲359 (▲1.5%)

負債は2億15百万円減少し、82億38百万円となりました。

主な要因は、借入金の増加2億47百万円、支払手形及び買掛金の減少2億47百万円、東京物流センターの設備資金にかかる一部未払額1億93百万円が当期に支払われ、未払金が減少したことによります。

純資産は1億44百万円減少し、146億56百万円となりました。

主な要因は、保有株式の時価回復によりその他有価証券評価差額金の増加52百万円、利益剰余金の動向として配当金の支払による減少87百万円、当第2四半期連結累計期間の四半期純損失の計上1億14百万円によるものであります。

なお、自己資本比率は64.0%となりました。

要約第2四半期連結キャッシュ・フロー計算書

単位: 百万円

	2008年9月	2009年3月期	2009年9月
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,521	2,503	1,254
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲ 641	▲ 2,104	887
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲ 1,112	▲ 596	143
現金及び現金同等物の増・減(▲)額	▲ 231	▲ 217	2,288
現金及び現金同等物の期首残高	4,698	4,698	4,480
現金及び現金同等物の中間期末(期末)残高	4,467	4,480	6,769

①営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動の結果増加した資金は、12億54百万円となりました(前第2四半期連結累計期間における資金の増加は15億21百万円)。主に、税金等調整前四半期純損失1億37百万円、仕入債務の減少2億48百万円の減少要因、売上債権の減少15億16百万円、たな卸資産の減少48百万円の増加要因によるものであります。

②投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動の結果増加した資金は、8億87百万円となりました(前第2四半期連結累計期間における資金の減少は6億41百万円)。主に、定期預金の満期到来による資金の純増10億円、有形固定資産の売却による資金の増加3億45百万円、宮城県黒川郡大和町の土地購入資金を中心とした支出による資金の減少4億63百万円によるものであります。

③財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動の結果増加した資金は、1億43百万円となりました(前第2四半期連結累計期間における資金の減少は11億12百万円)。主に、長期借入金の調達5億円及び長期借入金の返済2億53百万円、配当金の支払87百万円によるものであります。



3. 第58期(2010年3月期)の見通し



2010年3月期の見通し

電気機器・電子部品・産業機械業界

半導体・液晶製造装置関連機器メーカー
産業機器メーカー

生産活動は、徐々に回復するが、
設備投資は、下期も回復は遅れると予測



上期に比較すると回復基調で推移するものと予測

FA機器、電子・デバイス機器分野

生産は徐々に回復するが
設備需要の回復は遅れる
と予測

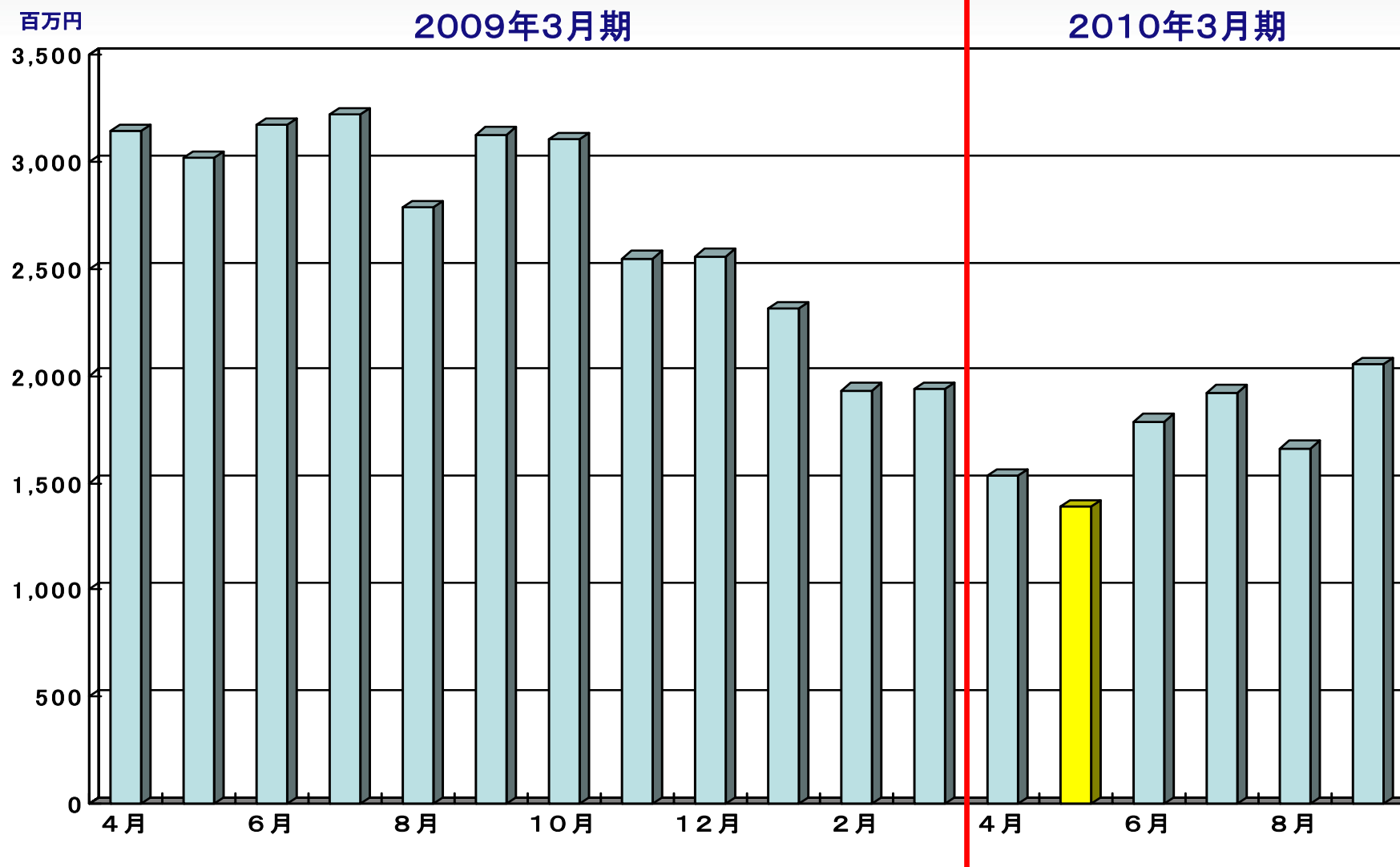
情報・通信機器分野

法人向けカスタムパソコン、
機器組込み用ボードコン
ピュータ等需要は、引き続き
低迷するものと予測

電設資材分野

工場設備需要や新規着工の
回復は遅れると予測

月次売上推移(個別)

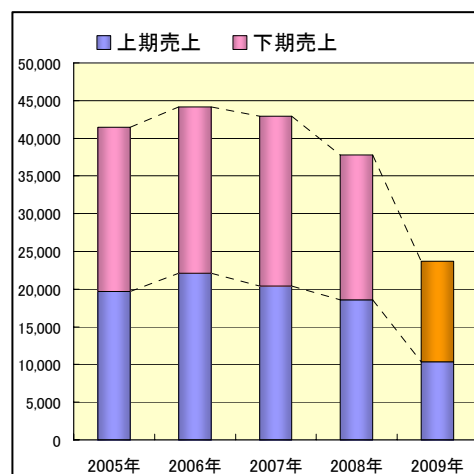


通期連結業績予想

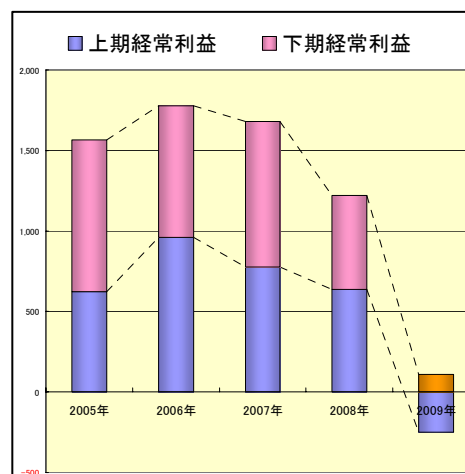
単位: 百万円

	08年 3月期	09年 3月期	09年 3月期見込	10年3月期 第1四半期 公表時予想	予想との差異
売上高	41,772	33,034	23,700 (▲ 28.3%)	27,070	▲3,370 (▲ 12.4 %)
営業利益	1,542	620	▲260 (— %)	59	▲ 319 (— %)
経常利益	1,726	746	▲141 (— %)	125	▲ 266 (— %)
当期純利益	968	399	▲59 (— %)	26	▲ 85 (— %)
1株当り年間配当金 (うち記念配)	33.0 円 (10.0円)	14.0 円 (5.0円)	0 円 (0.0 円)	0.0 円 (0.0 円)	—

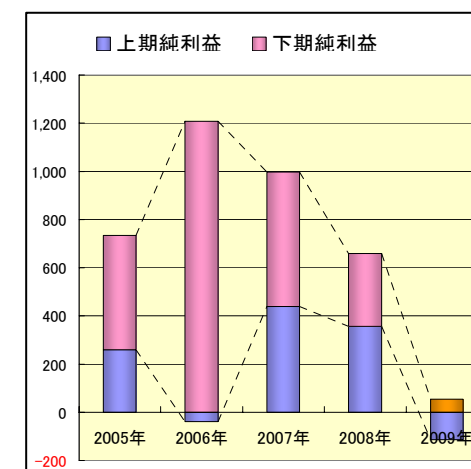
単位: 百万円



単位: 百万円



単位: 百万円





4. 重点課題戦略



コスト削減の緊急施策

■人件費の削減 ➡ 継続中

1. 役員報酬の減額 30～50%の減額
※対象 …取締役、監査役、執行役員
2. 管理職給与の減額 3～5%の減額
3. 人件費の見直し

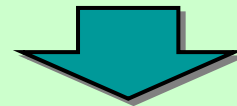
■その他経費の削減 ➡ 継続中

キーワード

【58期～60期 キーワード】
Re-Birth スズデン

【構造改革】

- ・販売先の拡大と販売商品の拡大による売上拡大
- ・利益率向上とローコストオペレーションによる利益確保



市場規模に応じて、収益を計上できる体制を構築する

【58期 キーワード】
NOと云わずに
どうしたら 出来るか？ を考えよう

主要営業戦略

経営資源の選択と集中によるエリア戦略、マーケット戦略強化のための営業体制(組織)を推進

①マーケット活動強化 ……注力顧客の売上拡大計画の策定・進捗管理の継続

②注力業界への営業力強化の継続

自動車、三品(食品・医薬品・化粧品)業界



環境関連と二次電池、鉄道・電力等のインフラ業界

食品・環境・二次電池関連業界の担当者に営業部長を任命し、各々活動中。

③営業部・営業所の新設

◆エレクトロニクスコンポーネンツ営業部

※コネクタ、基板搭載商材の分野における営業力の強化

◆環境ビジネス営業所

※環境関連商材の分野における営業力の強化

主要営業戦略

④快適工場提案

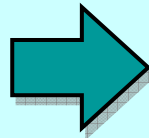
品質・環境(省)・安全をキーワードに工場全体の快適化を提案

国際食品工業展(FOOMA JAPAN / 6月9日～12日)に出展、新規顧客を開拓

来場者数:約10万人

名刺獲得数:479名

獲得テーマ件数:262件



現在フォロー活動継続中

※その他の展示会

●ESEC(組込みシステム開発技術展) 5月13日～15日(終了)

●セミコン・ジャパン 2009 12月2日～4日 (幕張メッセ)

⑤拡販DAYの実施

・標準在庫品の販売強化 ・粗利確保

※対象商品以外の商品の販売やテーマも獲得

⑥与信管理のさらなる強化

商品戦略

当社オリジナルブランド ユーボン(Ubon) 拡売

- ・1コイン(500円)販売(少量)と豊富な品揃え(多品種)
- ・取扱いメーカーを増やし売上高UP
- ・カタログ発刊や各種展示会への出展で認知度UP
- ・専任部署(ユーボン販売推進部)による販促活動の推進



6月に新製品カタログを発刊
 価格改定(一部商品の値下を実施)
 感謝キャンペーン(還元セール)を実施
 顧客でのミニ展を実施
 メールマガジンの誘客による、FA-Ubon
 サイトでの拡販
 今後も月商1億円を目標に拡売策実施

注力商材・メーカー

- メカトロ系商材 …メカトロ営業所を中心に販売強化(電動シリンダ[IAI]、ACサーボモーター、ロボット)
- エンベデッド(産業用組込みボードコンピュータ) …展示会への出展
- 在庫品、ベーシック商品の販売強化
- 環境関連
 - ◆商材 …測定・監視機器、太陽光発電、LED照明等
 - ◆フィービジネス(商品ではなく、機能を提供するサービス)

「安心サービス」でお客様への経費削減、環境配慮の提案並びに取り扱い商材の更なる拡大
- 注力メーカー
 - ①IAI(アイ・イー・アイ):電動シリンダ ②TRINC(トリンク):静電気対策
 - ③日本エアータック:クリーンエアシステム
 - ④FEC(エフイーシー):非接触駆動伝達機「歯のない歯車 マグトラン」

技術戦略

■システムソリューション技術部

システムエンジニアの派遣により、顧客への技術支援を柱に最適商品のご案内など、きめ細やかなサービスを提供。

顧客ニーズに直結したソリューション提案営業による大型商談の獲得を狙う。

アプリケーションソフトを
主体としたシステム構築



データ処理を主体とした
システム構築

積極的な横展開 ⇒ お客様のシステム化支援



アプリケーション事例集による社内への啓蒙

■アプリケーション営業部

センサー、PLC、視覚認識装置、メカトロ関連商品等の高機能商品を軸に顧客ニーズに直結した最適な製品の組み合わせによる提案営業を営業所との連携で行い、きめ細やかなサービスを提供。

ベルセミナーの継続(快適工場セミナー、商品セミナー(IAI、デジタル等))

物流戦略

- ・東京物流センターでの新物流システムの構築
- ・客先直送の推進
- ・バーコード検品システムの推進による物流品質の向上
- ・免震構造による危機管理

全 景

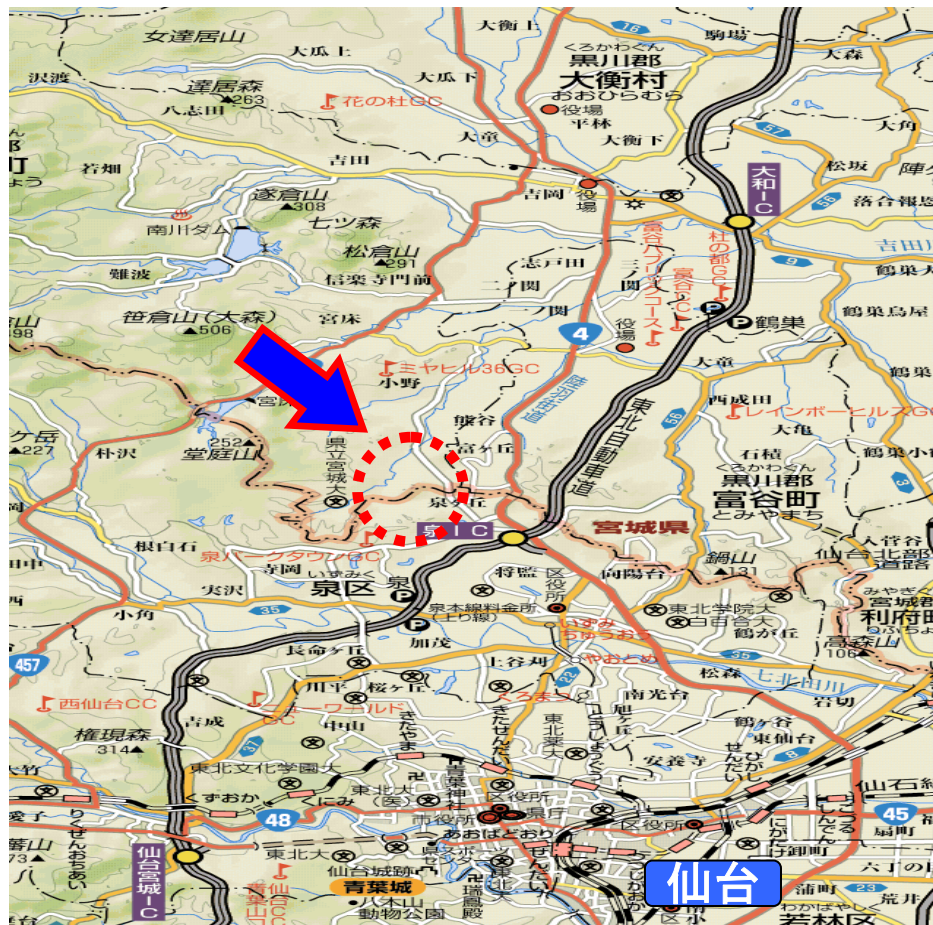


免震装置



物流戦略

大和プロジェクト …… 物流加工拠点の建設 土地売買契約を締結し、2010年春に着工予定



その他施策①

■人材共育投資の強化を継続

■事業継続マネジメントの構築

(BCM: Business Continuity Management)

■CSR

・コンプライアンス

・・・CSR要綱をパートタイマー・派遣社員を含む全社員へ配布

・中学生社会体験学習の受入れの継続

・寄付の継続

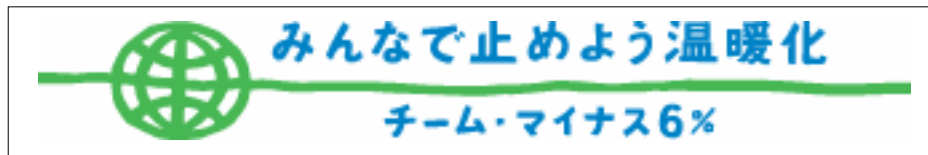
■固定資産見直しの継続

両国・梅島・横浜・立川・多摩等の土地・建物の見直しを継続

その他施策②

■環境への取組み

- ・「チームマイナス6%」への参加



- ・ ISO14001マネジメントシステムによる継続的改善

- ① 省エネルギー、リサイクル、資源の有効活用の推進
- ② 環境配慮型商品の販売推進
- ③ 仕入先様との品質改善会議の継続
- ④ 環境に配慮した物流
- ⑤ 「安心サービス」の促進
- ⑥ ペットボトルキャップの回収

(400個=1kg=10円、20円でポリオワクチン1人分に！)



スズデン株式会社

ご清聴、ありがとうございました。

【注意事項】本資料に記載されている、スズデン株式会社の現在の計画、戦略、確信などのうち、歴史的事実でないものは将来の業績等に関する見通しであり、リスクや不確定な要因を含んでおります。実際の業績は、さまざまな要因により、これら見通しとは異なる結果となりうることをご承知おきください。